

南坂15号墳他現地説明会資料

岡山市教育委員会文化財課

2005(平成17年)8月31日

9月1日

◎南坂15号墳 足守平野に面した尾根上、標高約84mの地点に位置する、東西7m南北10mの南北にやや長いびつな方墳である。残存高は0,4~0,6mをはかる。墳丘中央には東西2,3m、南北0,7mをはかる木棺直葬と考えられる埋葬施設が認められる。埋葬施設内から遺物は出土していない。

◎南坂16号墳 標高85m付近に位置する、東西約14m、南北約18m高さ約1,6mをはかる、南北に長い楕円形の円墳と考えられ、地山を削りだして築造されている。墳頂部中央からは、東西に軸を持つ埋葬施設が3基検出されている。

北側の埋葬施設(埋葬施設1)は、東西約2,0m、南北0,5~0,7m、2石の蓋石を持つ箱式石棺である。石棺内からは赤色顔料に染まった人骨が頭部を東に向けて良好に残存していた。他の遺物は確認されていない。中央の埋葬施設(埋葬施設2)は上半部を粘土で被覆していたと考えられる、東西約3,1m、南北約0,6mの木棺と推測される。遺物は確認されていない。南側の埋葬施設(埋葬施設3)は、東西約2,0m南北約0,4mの木棺直葬と考えられる。遺物は確認されていない。

◎南坂24号墳 15号墳の南にほぼ接して位置する。東西7,5m、南北約6,0mをはかる、地山を削りだして築造された方墳と考えられる。墳頂部には、東西約2,5m、南北約0,7mの、木棺直葬と考えられる埋葬施設が認められる。遺物は確認されていない。南側の墳端からは、供献土器と考えられる古墳時代中期の土師器がまとまって出土している。

◎南坂25号墳 15号墳の北にほぼ接して位置する。東西5m以上、南北約7,0mをはかる、地山を削りだして築造された方墳と考えられる。墳頂部には、東西約0,6m、南北約3,0mの、木棺の上半部を粘土で被覆していたと考えられる埋葬施設が認められる。遺物は確認されていない。

◎南坂26号墳 15号墳の西側に接して位置する、地山を削りだして築造された、東西5m南北7mの南北に長い円墳と考えられる古墳である。墳頂部やや南寄りに、箱式石棺の破壊されたものと推測される遺構が認められる。遺物は確認されていない。15号墳との境に孤を描く形で、溝状の遺構が確認された。この遺構内及び周辺からは古墳時代中期の須恵器が出土しているが、一部後期の須恵器も混入する。

◎南坂27号墳 調査区北端、標高75m付近で尾根の傾斜変換点に築かれた、東西約9,0m、南北約6,4mの方墳である。墳頂部には東西約2m、南北0,6~0,9mの軸をやや南へ振った箱式石棺が認められる。石棺内部には頭部を東に向けた人骨1体と鉄剣が2振出土した。蓋石は6石認められた。

◎土器棺 24号墳の墳頂で確認された。約1,2m×0,8mをはかる楕円形の堀方の中に、高さ約80cmの壺が埋納されていた。上半部は削平されているが、高坏の坏部で蓋がされていたと考えられる時期は古墳時代前期と考えられる。

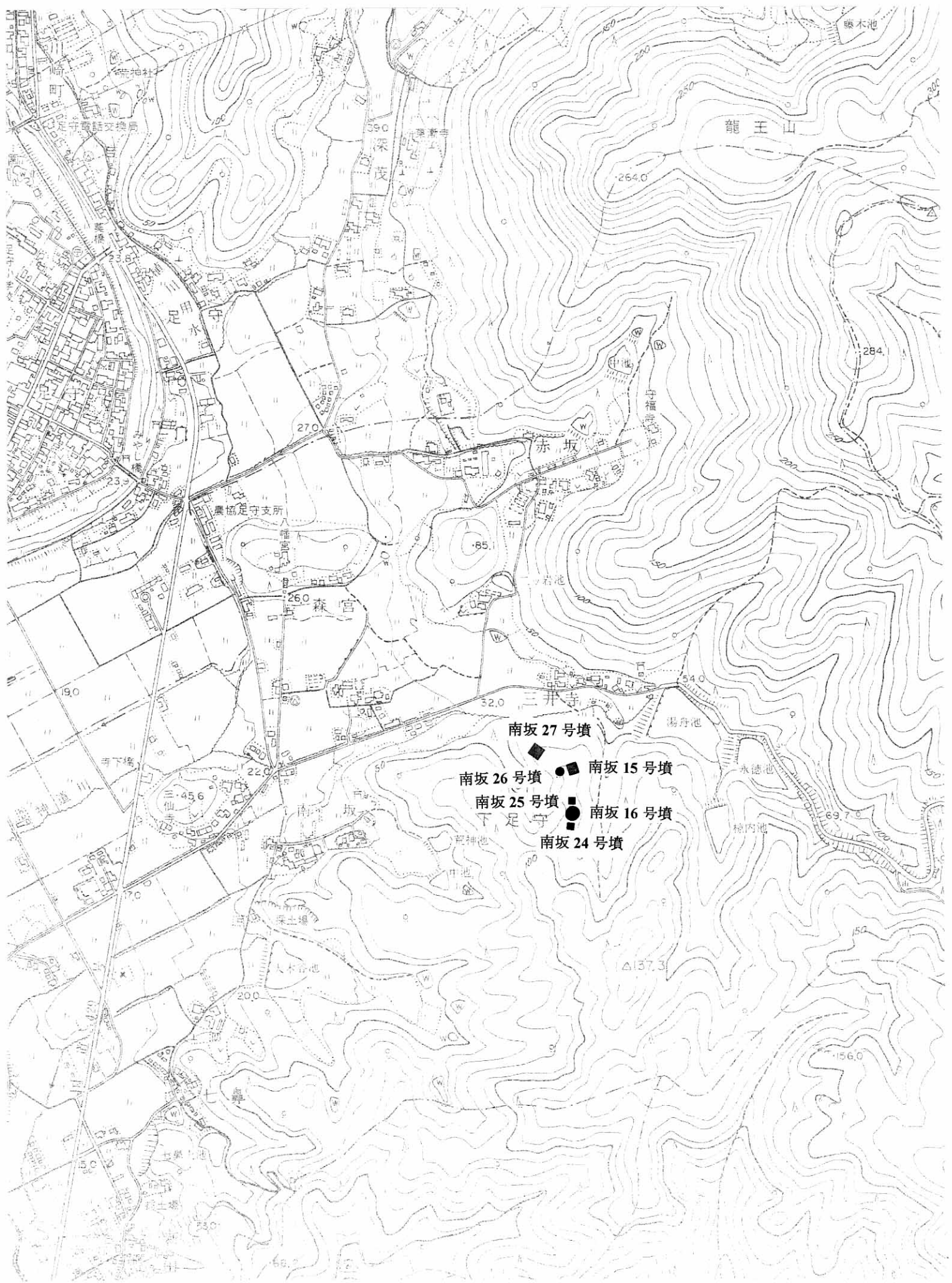
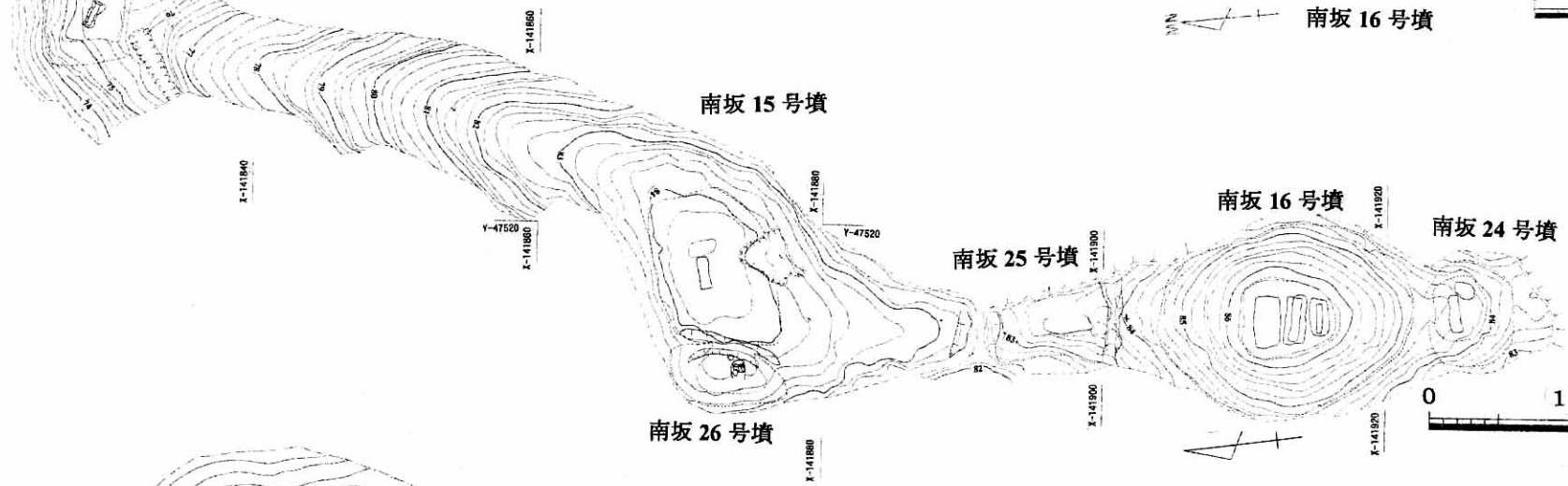
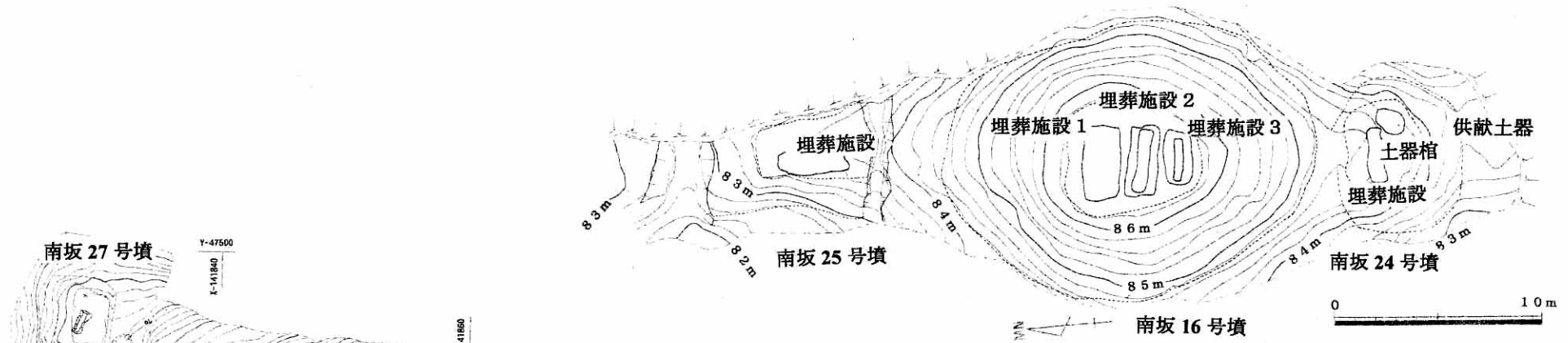


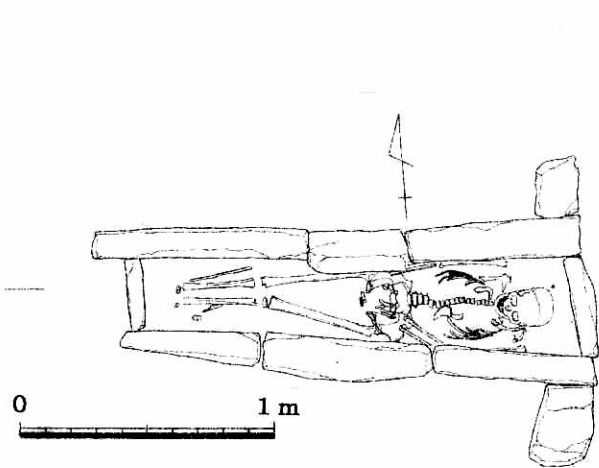
図1 調査位置図 (S=1/10000)



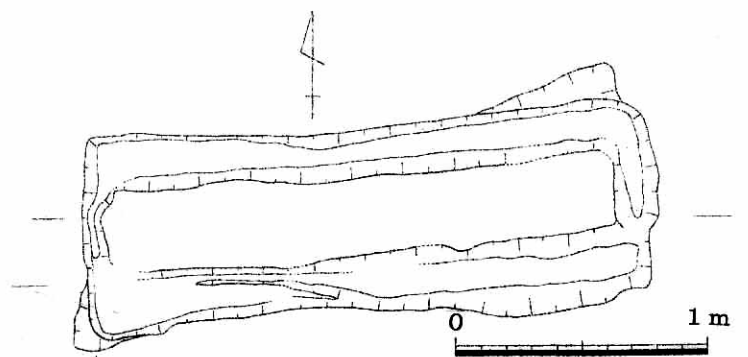
調査区地形図 (S = 1 / 500)

[拡大部分は任意]

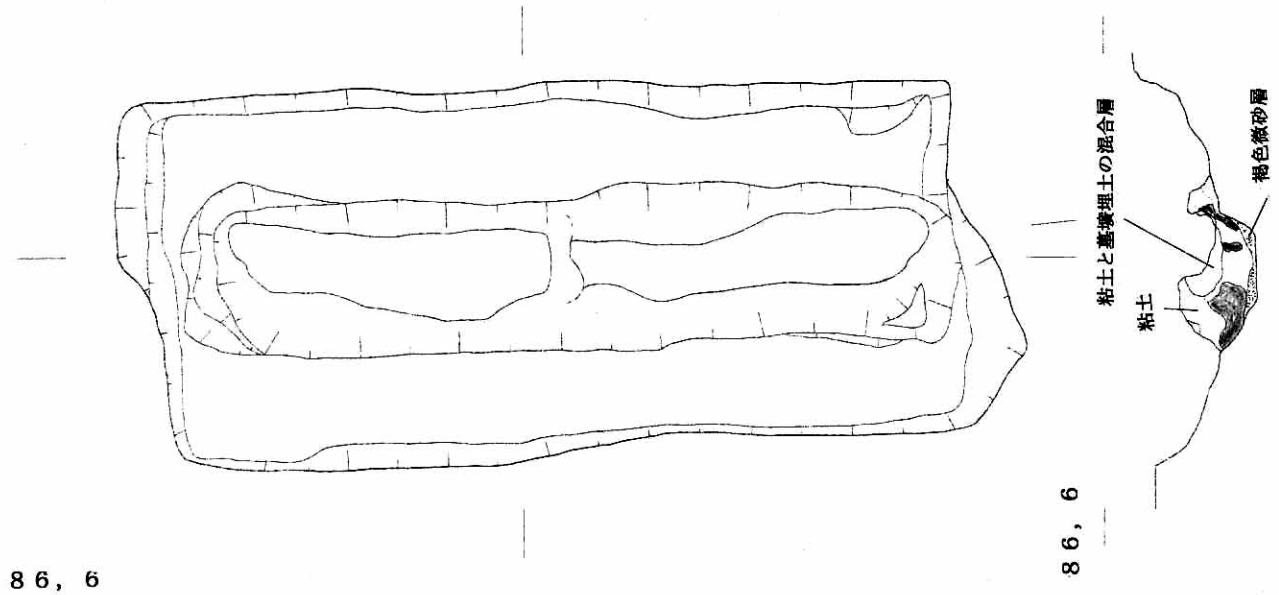




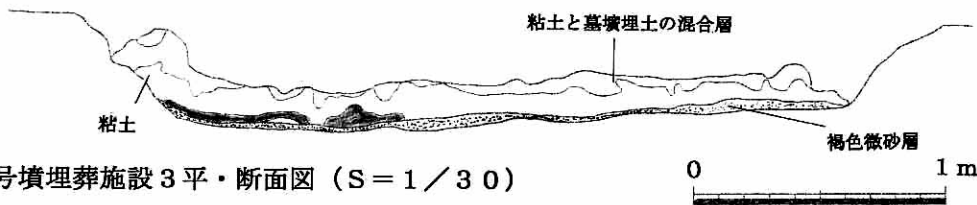
南坂15号墳埋葬施設 (S=1/30)



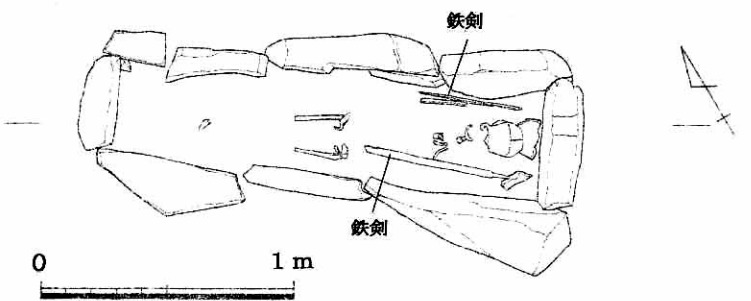
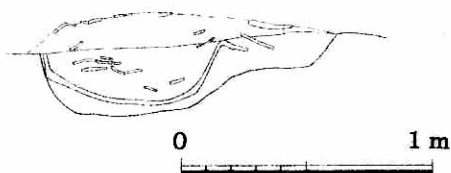
南坂16号墳埋葬施設1人骨出土状況 (S=1/30)



南坂16号墳埋葬施設3平・断面図 (S=1/30)



84, 5



南坂27号墳埋葬施設人骨・遺物出土状況 (S=1/30)

土器棺平・断面図 (S=1/30)